事故発生時の救急体制

事故発生 児童からの第１報

緊急の場合
心停止、呼吸停止
大出血・大きな開放創
意識障害、けいれんの持続
強いショック症状
大きな変形をともなう外傷
広範囲の熱傷
※ＡＥＤ講習と同様
その他、重篤な状況

第1関係者
携帯電話を持って急行
状況確認・緊急度判断

アクションカード
職員室、保健室
教頭

保健室
養護教諭不在時
は職員室へ
傷病児の安全確
保・応急処置

担任
①保健室・校長・教頭へ報告
②保護者へ連絡
・保護者の希望により病院決定
・連絡がとれず、急を要する場合
は保健調査票記入の病院か、
大きな総合病院（日赤）へ。
③学年主任へ報告

第１関係者が
その場で救急車要請

緊急度大・救急車要請

救急車要請と同時に、直ちに校長・教頭に連絡し、本部設営。アクションカードを使用し、迅速に対応する。

アクションカード：職員室、保健室、教頭
（内容→別紙）

○　本部：校長、教頭、教務
○　救急車を呼ぶ
○　ＡＥＤを職員玄関から持ってくる
○　救急処置・救急車同行
救急車同行は、養護教諭、
または「発生の状況が一番わかる人」
を要請される場合あり。
○　救急車誘導
○　家庭連絡
○　児童掌握
○　記録

市教委TEL　　５７－４１４１
南信教事TEL　０２６５－７６－６８６０

緊急ではないが、**受診が必要な場合**

・　原則として、保護者と相談し、
かかりつけ病院に連れて行っていただく
（病院へは学校からＴＥＬ）
・　症状や状況・活動の場面に応じて
養護教諭・担任等関係職員がつきそう。
・　**症状によりタクシーを利用する。**
（タクシー券あり）

医療機関へ付き添った職員は、随時　学校（本部）へ経過報告をする。
（保護者に連れて行っていただいた場合は、後ほど家庭へ連絡を入れる：担任→養護教諭へ連絡）

事故の状況把握と再発防止のため、全職員に周知する会を持つ
（状況により、臨時職員会・職員朝会・職員会等）

スポーツ振興センター　手続き：養護教諭
（事故報告書作成：教頭）